

ドリルZ・さんすう 1~6

**1 ふくしゅう ①**

1 あめを ひかるさんは 4こ、あかりさんは 5こもらいました。2人がもらった あめは あわせてなんこでしょう。

式  $4 + 5 = 9$  答え **9こ**

2 犬が 10びき います。ねこが 7びき います。どちらがなんびき おおいてしょう。

式  $10 - 7 = 3$

答え **犬が3びきおおい。**

3 □に あてはまる かずを かきましょう。

- 10と 8と **18**。
- 10が 8こで **80**。
- 10が 3こと | が 6こで **36**。
- 72は、10が **7**こと | が **2**この かず。

**2 ふくしゅう ②**

1 もんだいを よみ、りんごに いろをぬりましょう。

1 左から 3こ目の りんごに いろをぬりましょう。

2 左から 3この りんごに いろをぬりましょう。

2 やかんに 茶が いっぱい 入っています。この 水をバケツに 入れたら、水が あふれました。

やかん バケツ

水が おおく 入る ほうの ( ) に ○を かきましょう。

(○) やかん ( ) バケツ

**3 ふくしゅう ③**

1 こうえんに 子どもが 15人 います。そのうちの 9人が男の子です。女の子は なんん いるでしょう。

式  $15 - 9 = 6$

答え **6人**

2 車が 8だい とまっています。いままた 3だいきて とまりました。とまっている 車は なんだいに なったでしょう。

式  $8 + 3 = 11$

答え **11だい**

3 かずが 小さい ものから じゅんばんに、( ) に 1, 2, 3の ばんごうを かきましょう。

①  $25, 52, 55$  (1) (2) (3)

②  $99, 100, 91$  (2) (3) (1)

**4 けいさんしりとり**

きょうりゅうの せかいを ぼうけんしています。わかれみちでは、まえに やった けいさんの こたえの かずから はじまって いる しきの ほうへ すずみましよう。

スタート

9+4, 13-4, 8+7, 14-6, 9+6, 15-7, 17-8, 9+7-8, 8-3+6, 7+0+7, 11-5-3, 14-5+9, 4+6+5, 3+8-1

ゴール

**5 ふくしゅう ④**

1 おにぎりが 12こ あります。ひかるさんが 3こ、あかりさんが 2こ たべました。おにぎりは なんこのこって いるでしょう。

式  $12 - 3 - 2 = 7$

答え **7こ**

2 くつばこに くつが 6足 入っています。そこへ あたらしく 8足 入れて、5足 とり出しました。くつばこに入っている くつは なん足に なったでしょう。

式  $6 + 8 - 5 = 9$

答え **9足**

3 かずのせんを 見て、□に あてはまる かずを かきましょう。

0 9 17 24 31

**6 ふくしゅう ⑤**

1 おなじ なかまの かたちの かずを かぞえて、□に かずを かきましょう。

○の なかま **2**こ

△の なかま **4**こ

□の なかま **3**こ

2 □に あてはまる かずを かきましょう。

● ノートが 12さつ あります。2人で おなじ かずずつ わけると、1人ぶんは **6**さつに なります。

● ノートが 12さつ あります。4人で おなじ かずずつ わけると、1人ぶんは **3**さつに なります。

1 2のような問題では、「どちらが」と「なんびき」という2つの要素を両方入れて答えることがポイントです。3は10のまとまりに基づく数構成の学習ですが、2以降は、10×8などかけ算の素地を育てることにもつながる内容です。

2 1は、位置や順番を表す順序数の「左から3こ目」と、数量を表す集合数の「左から3こ」の違いを確認する問題で、小学生コース1年生5月号の復習です。

3 時間経過を伴う2のような場面では、話の流れにそった式を立てることが大切です。「3+8」ではなく「8+3」と立式できるとよいでしょう。

4 ゴールまでたどり着いたら、正解のルート以外にある式についても、計算練習として取り組むようにお子さまに声をかけるとよいでしょう。

5 1は、「初めにひかるさんが3個食べ、次にあかりさんが2個食べた。」という場面(時間経過を伴う場面)ではないので、「12-2-3」という式でもかまいません。

6 1では、同じものを重複して数えてしまわないように、印をつけるなどの工夫ができるとよいでしょう。なお、1年生にとって、向きや大きさや色の異なる図形を「同じ仲間」ととらえることは、大人が考える以上に難しいことです。適宜、お子さまをサポートしてあげてください。

**7 ふくしゅう ⑧** □月 □日 □曜日

**1** ケーキが 12こ あります。8人が 1こずつ たべると、なんこ あまるでしょう。

①  $12 - 8 = 4$  **4こ**

**2** けいさんの れんしゅうを しています。あかりさんは 30もん ときました。ひかるさんは あかりさんより 10もん おおく ときました。ひかるさんは なんもん といたでしょう。

②  $30 + 10 = 40$  **40もん**

**3** □に あてはまる かずを かきましょう。

● 97は、 $\frac{1}{2}$ のくらいが **9**で  $\frac{1}{10}$ のくらいが **7**の かず。

● 十のくらいが 4で 一のくらいが 2の かずは **42**。

**8 ふくしゅう ⑦** □月 □日 □曜日

**1** はたざおの ながさが ながい ものから じゅんばんに、( )に 1, 2, 3, 4, 5の ばんごうを かきましょう。

**2** けいさんを しましょう。

●  $12 + 3 = 15$  ●  $20 - 5 = 15$   
 ●  $50 + 20 = 70$  ●  $80 - 60 = 20$   
 ●  $99 + 1 = 100$  ●  $42 + 5 = 47$   
 ●  $69 - 6 = 63$  ●  $55 - 50 = 5$   
 ●  $100 + 5 = 105$  ●  $130 - 30 = 100$

**9 ふくしゅう ⑧** □月 □日 □曜日

**1** ①, ②, ③の ひろさを くらべます。

はしを そろえて かさねます。ひろいものから じゅんばんに、□に ①, ②, ③の きごうを かきましょう。

① → ② → ③

**2** □に あてはまる かずを かきましょう。

●  $8 + 4 = 12$  ●  $10 - 7 = 3$   
 ●  $9 + 5 = 14$  ●  $15 - 9 + 7 = 13$   
 ●  $70 + 40 = 110$  ●  $120 - 80 = 40$

**10 ふくしゅう ⑨** □月 □日 □曜日

**1** どけいを よみましょう。

① **11じ** ② **3じはん (3じ30ぶん)**  
 ③ **9じ15ぶん** ④ **7じ27ぶん**

**2** ・と ・を せんで おすび、 $\frac{1}{2}$ の 左がわと おなじ えを 右がわに かきましょう。

**11 ふくしゅう ⑩** □月 □日 □曜日

**1** テニスボールが 25こ あります。サッカーボールは テニスボールより 5こ すくないそうです。サッカーボールは なんこ あるでしょう。

①  $25 - 5 = 20$  **20こ**

**2** ひかるさんは れつの まえから 7ばん目に います。ひかるさんの うしろにも 6人 います。れつに ならんでいるのは ぜんぶで なん人でしょう。

②  $7 + 6 = 13$  **13人**

**3** かずの ならびかたの きまりを かんがえて、□に あてはまる かずを かきましょう。

●  $96 - 97 - 98 - 99 - 100 - 101 - 102$   
 ●  $35 - 30 - 25 - 20 - 15 - 10 - 5$

**12 あんごうクイズ** □月 □日 □曜日

しきと あんごうが ○で つながれて います。けいさんを して、こたえの かずの 下に、○で つながれた カードの 文字や すう字を かきましょう。

0	3	6	9	12	15	18
も	う	す	ぐ	2	年	生

**7** **1**は、「ケーキ 12個」から「8人が食べるケーキ 8個」をひく計算であって、「12個」から「8人」をひく計算ではありません。丸つけの際、その理解ができていないかを確認してください。

**8** **1**は、起点が同じ（足元が平ら）で上部の高さが異なる旗の長さ比べよりも若干難しい問題です。

**9** **2**は虫食い算の問題です。数構成を利用して □に あてはまる数を考えられるとよいでしょう。難しい問題ですので、□に 適当な数を あてはめて考えてもかまいません。

**10** 「5 飛びの数え方」を利用すると時計から時刻をスムーズに読み取ることができます。「5分、10分、15分、……」と時計を見ながら5分刻みで唱える練習を行うとよいでしょう。

**11** **1**や**2**で、お子さまが戸惑っている場合には、図をかいて説明してあげましょう。図をかかずに正解できた場合であっても、問題文を図に表してもらい取り組みを行うとよいでしょう。

**12** 過去の教材でも何度か出題したことのある問題ですが、初めて取り組まれるお子さまには、「 $13 - 7 - 6 = 0$ だから、『0』の下に『も』を書くんだね。」というように、最初の1つを例にしてやり方を説明してあげてください。